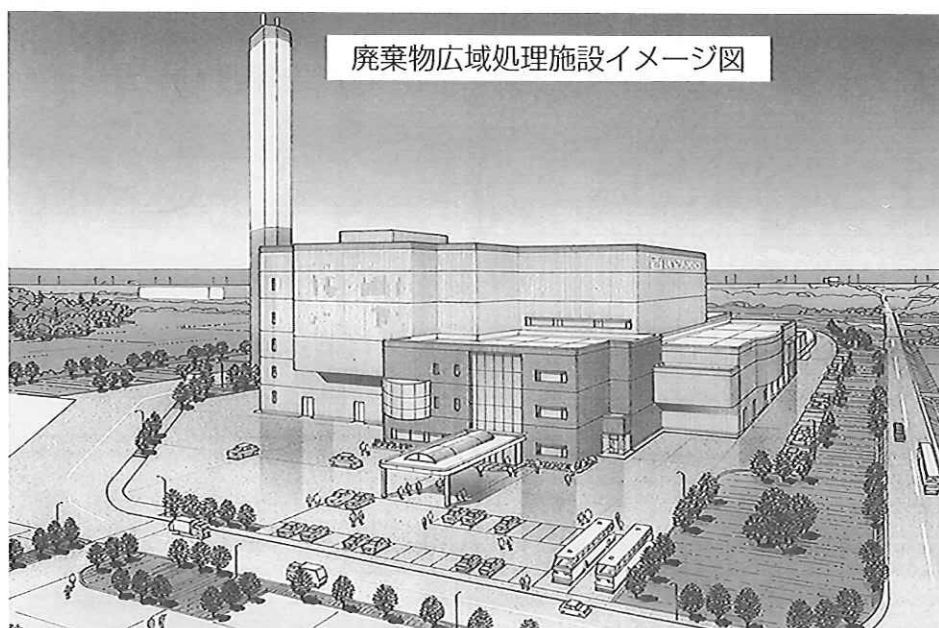


～西胆振地域の環境を守るため～ 焼却施設の建設がはじまりました



廃棄物広域処理施設イメージ図

皆さんの疑問にお答えします

ごみの広域処理
Q & A

新しい焼却施設は？

新しい焼却施設は、キルン式ガス化溶融炉と呼ばれるものです。ごみを450℃前後で熱分解を行い、ガスとカーボン(炭のような物)とします。熱分解は、ほぼ無酸素で行いますので、鉄は酸化せずアルミは溶けない状態で回収されます。

熱分解後に残ったカーボンは、ダイオキシン類の発生を抑えるよう1,300℃の高温で燃焼溶融させスラグ化します。このスラグは、アスファルト用資材等に有効利用できるため、資源循環型の焼却施設といえます。

また、高温溶融により発生する熱エネルギーは、温水や蒸気の形態で回収し、発電を行うほか工場内の冷暖房やロードヒーティングなどに利用できます。

さらに、不燃ごみも破砕して燃えるものは焼却施設で処理することから最終処分場の延命ができます。

余熱利用施設は？

焼却施設から安定的に供給される余熱エネルギーを最大限に利用する還元施設です。また、住民の方々の要望が高い健康増進に寄与できる施設とし、子供から老人までの多様な年齢層に対応ができるとともに、バリアフリー仕様として“ここちよい”建物とします。

施設の内容は、だれでも自由に利用できる健康増進施設として、ミニ体育館、温水プールなどの建設を予定しています。



旭川市の余熱利用施設「近文市民ふれあいセンター」

広域連合制度とは？

今日の市町村においては、専門化・高度化した住民ニーズに、少ない財政規模・職員体制で対応していかなければならなくなっています。

広域連合は「各市町村が単独で行うことが困難で高度な事務」を連携・協力して効率的に対応することを目的として設置される、特別地方公共団体です。

西いぶり廃棄物処理広域連合とは？

北海道が定めた「ごみ処理の広域計画」に基づき、国が策定したダイオキシン類削減対策の新基準を守るため、西胆振7市町村（室蘭市、伊達市、豊浦町、虻田町、洞爺村、大滝村、壮瞥町）で構成されています。



《 詳 細 》

西いぶり廃棄物処理広域連合総務課

〒050-0054 室蘭市白鳥台5-2-1

☎(0143) 59 0705 FAX(0143) 59 7005